

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | すばらうとこども発達サポート | | | | | 公表日 | 令和 7 年 3 月 24 日 | |
|---|---|---|----|---|---|--|-----|-----------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 | | | |
| 環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・ | 1 | 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。 | 12 | | 特別な教材は使用せず、身近なもので作成している。 | 作成する時間を確保していきます。 | | | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 11 | 1 | できる限りのニーズに答えるが、調整が難しいこともある。 | 計画的に行い、調整していきます。 | | | |
| 業 務 改 善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 10 | 1 | 訪問支援を実施後の他職種の職員への周知は書面だけになりがちである。 | 訪問支援について、計画から実施、振り返りの時間を職員会議で行います。 | | | |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | 2 | 今年度初めて保護者アンケートを実施したが、説明不足な点が多かったことを反省する。 | 今回の評価を踏まえた業務改善をしていきます。 | | | |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 12 | | 訪問支援については担当者と児発管のみで打ち合わせることが多かった。 | 訪問支援について、職員からの意見を求め、気づかなかったことを改善していきます。 | | | |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 8 | 現段階では、外部評価はおこなっていない。 | サービス向上のため、今後検討してもいい案件であると思います。 | | | |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 12 | | 専門職の研修について報告している。 | 多職種連携のため、今後も継続します。 | | | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 8 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 12 | | アセスメントにかける時間が不十分なケースもあった。事前会議や面談で保護者の意向を聞き、計画の説明を施設にした。 | 客観的な分析と目標立てについて、ケース会議等を活用していきます。 | | | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 12 | | 通所支援を行っている児童に対しては全職員の意見をもらっている。 | 訪問支援のみの児童については、施設の先生方との打ち合わせを十分していくようにします。 | | | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 12 | | 事前会議等で訪問先の意向を聞く。 | 関係機関連携会議を活用していきます。 | | | |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 12 | | 計画は書面で共有してきたが、その都度の振り返りは一部職員に限られる。 | 訪問員からの報告とともに、計画の確認をします。 | | | |
| | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 11 | 1 | フォーマルなアセスメントを医療機関で受けている場合には、見せていただいている。 | インフォーマルなアセスメントについても訪問先の先生方と共有していくようにします。 | | | |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 11 | | 計画はあまり具体的になっていない。 | 実際には具体的な支援を行っているので、それを言語化していくようにします。 | | | |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 11 | | 書面にての共有になっている。 | 訪問支援についての会議を実施していきます。 | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 11 | | 訪問担当者は直前に前回の様子を話し合い打ち合わせている。 | 多職種連携の時は特に念入りに打ち合わせるようにし、役割分担しておくようにします。 | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 12 | | 訪問員同士で振り返りを行う。 | 単独で訪問することが多いが、伝達をしています。 | | | |
| 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 12 | | 訪問先の考え方をまずは聞くようにしている。受け入れがたいことについては、十分話し合う。 | 法律や制度に基づいた事業であることや、ガイドラインや指針について説明できるようにしておきたいと思います。 | | | | |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 12 | | 記録が遅れがちだが、必ず取っている。 | 記録の事務時間を確保するようにします。 | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---------------------------------------|--|----|------------------|--|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 12 | | モニタリングは6カ月以内に行っている。 | 訪問先へのモニタリングを積極的に行うようにします。 |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 12 | | 参加している。 | 担当の相談支援専門員と連携を取り、状況把握をする。 |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 12 | | 必要な時には連絡している。 | 地域資源、関係機関についてよく知り、必要に応じて行っていく。 |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 12 | | 学校への移行については、間接的に行っている。 | 施設を通じて、より連携を深めたいと思います。 |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 12 | | 積極的に参加している。 | 研修内容の報告を共有するようにしています。 |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 10 | 1 | スタッフは参加していないが、自立支援協議会には法人職員で関わっているものがある。 | 傍聴などの機会に参加するようにします。 |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 12 | | 報告時に書面に加えて、具体的に伝えている。 | 報告についての感想、意見を伺うようにしています。 |
| 保護者等への説明等 | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 10 | 1 | 研修情報をお届けしている。 | 引き続き行います。 |
| | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 12 | | 契約時に行っている。 | 継続して行います。 |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 12 | | | 継続して行います。 |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 12 | | 折に触れて確認している。 | 継続して行います。 |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 11 | | | 継続して行います。 |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 12 | | | 必要に応じて、家庭訪問します。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 6 | 先輩母から話を聞く機会があることなど、お伝えしている。 | きょうだい同士で交流する場を設ける等、きょうだい児への支援を検討してもいいと思います。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 12 | | | 随時、受け入れ対応しています。 |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 10 | 1 | 訪問支援の対象者には発信が少ない。 | 必要に応じて行います。 |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 12 | | | 遵守しています。 |
| 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 12 | | 必要な情報について提供している。 | メールや電話で迅速に対応していきます。 | |
| 訪問先施設への | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 12 | | 相談には随時対応している。 | 必要に応じて、専門職が対応します。 |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 10 | | 当日行えない場合は日をあらためて行っている。 | 日程調整が難しい場合が多いが、できるだけ当日か直近で計画します。 |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 12 | | 行っている。 | できるだけ早く報告するよう努めます。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|---|--------------------------------------|
| 説明等 | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 12 | | | 十分注意している。 |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 12 | | できる限りの対応をしている。 | 内容によっては必要に応じて、専門職から折り返しの伝達をするようにします。 |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 11 | 1 | マニュアルはあるが、保護者への説明が十分にされていないところがある。 | 契約時などで、説明をする際のチェック項目に入れていきます。 |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 11 | | 安全計画について定期的な見直しが必要である。 | 全体的な見直し、確認をしていきます。 |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 11 | | ヒヤリハットについて、定期的な振り返りが必要である。 | 職員会議等で定期的な振り返りをしていきます。 |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 12 | | | 定期的に受けています。 |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 11 | 1 | 身体拘束をする場合の説明と同意、身体拘束をせざるを得なかった場合の報告について、徹底する。 | 個別支援計画に明示するようになっています。 |